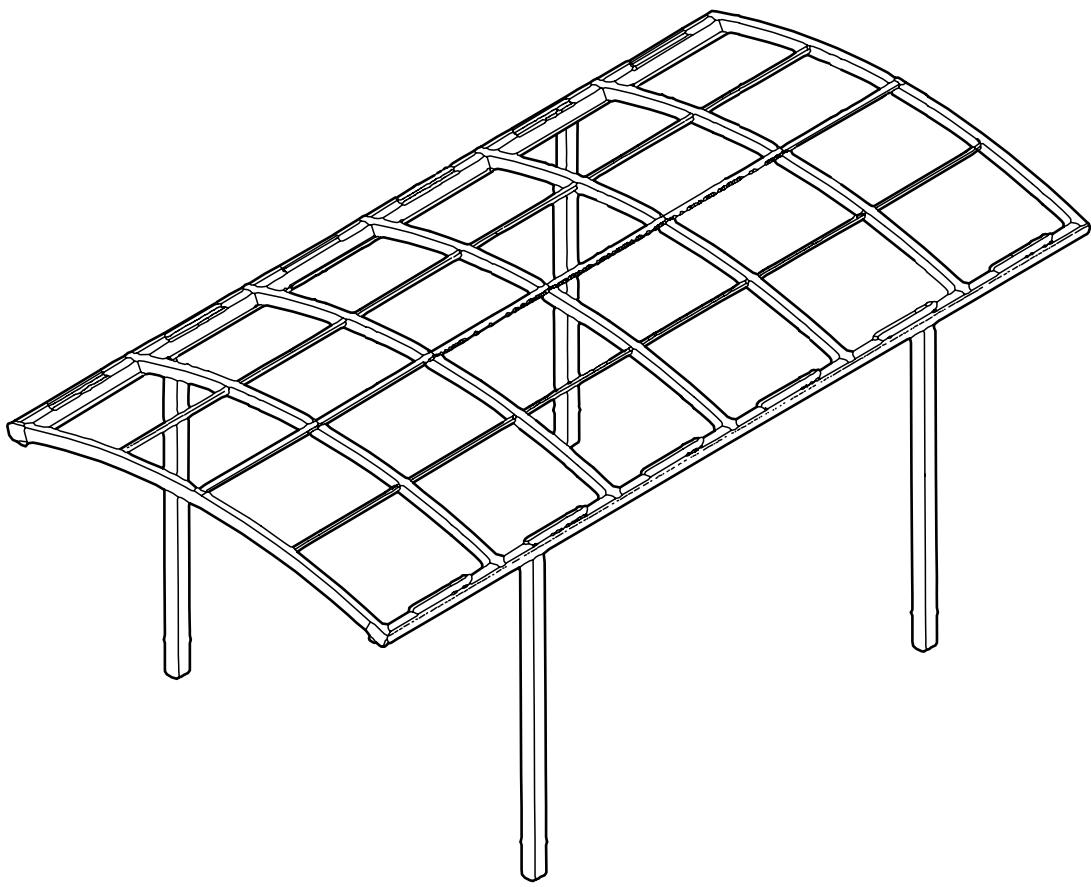




リードポート1型 リードポート1型 積雪地

取付説明書



C O N T E N T S

目 次

施工上のご注意	1
施工の前に(梱包確認表)	2
(梱包明細表)	3
基本タイプ・積雪地タイプ	4
縦連棟タイプ	13

- ◆このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
- ◆正しく安全な施工、組付／組立をしていただくために、必ず取付説明書をお読みください。

施工上のご注意

■安全な施工を行なうために、次のことを必ず実行してください。

- 施工時は、軍手・安全靴・ヘルメットなどを身に付けて、ケガをしないように保護してから施工を始めてください。
- 部材が重量物の場合、運搬・取付作業は2人以上で行なってください。(ケガのおそれがあります。)

■設置場所の確認

- 施工場所に寸法的に正しくおさまるか確認してください。
- 主屋の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。(カーポート)
- 施工場所の気象条件(風、雪など)に合った商品かどうか確認してください。
- 強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。

■規格表、梱包明細で必要な部材、部品がそろっているか確認してください。

■組立、施工途中では

- ボルト、ビスは弊社純正品の規定本数を確実に締め付け固定してください。
- 取付説明書の順序どおりに組付けてください。手順を違えますと製品の強度など、性能を低下させる場合があります。
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 表面にキズをつけた場合、腐食の原因となりますので補修塗料で補修してください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにしていただき、接触する部分を完全に養生してください。

■基礎工事について

- 基礎部の埋め込み深さは製品ごとに決めてありますが、現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- 塩分を含む砂は使用を避けてください。腐食の原因となります。やむをえず使用する場合は、十分水洗いしたものを使用してください。
- コンクリート(またはモルタル)には、急結剤は使用しないでください。使用しますとアルミが腐食する原因となります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良や腐食の原因となります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは速やかに拭き取ってください。

■製品の改造は絶対にしないでください。

■組立完成後はボルト、ビスなどにゆるみがないか確認してください。

■施工終了後、取扱説明書を施主様にお渡しください。

施工の前に

梱包確認表

それぞれお買い上げの型式のセット梱包数をご確認ください。

■リードポート1型 - 基本・縦連棟タイプ

梱包名称	員数								
	基本タイプ				縦連棟タイプ				
	27-51型	30-51型	27-59型	30-59型	27-51・51型	30-51・51型	27-59・59型	30-59・59型	
桁・中骨セット	51型用	1	1	—	—	2	2	—	—
	59型用	—	—	1	1	—	—	2	2
端部アーチセット	27型用	1	—	1	—	1	—	1	—
	30型用	—	1	—	1	—	1	—	1
中間アーチセット	27型用(1本入)	—	—	—	—	1	—	1	—
	30型用(1本入)	—	—	—	—	—	1	—	1
	27型用(5本入)	1	—	—	—	2	—	—	—
	30型用(5本入)	—	1	—	—	—	2	—	—
	27型用(6本入)	—	—	1	—	—	—	2	—
	30型用(6本入)	—	—	—	1	—	—	—	2
	51型用	1	1	—	—	1	1	—	—
	59型・積雪地(51・59型)用	—	—	1	1	—	1	1	—
部品セット	51型用	—	—	—	—	1	1	—	—
	59型・積雪地(51・59型)用	—	—	—	—	—	—	1	1
縦連棟部品セット	51型用	—	—	—	—	—	—	—	—
	59型・積雪地(51・59型)用	—	—	—	—	—	—	1	1
柱セット		2	2	3	3	4	4	6	6
	27型用(6枚入)	2	—	2	—	4	—	4	—
選択	屋根材セット※2 (アクリル)	30型用(6枚入)	—	2	—	2	—	4	—
	27型用(2枚入)	—	—	1	—	—	—	2	—
	30型用(2枚入)	—	—	—	1	—	—	—	2
	27型用(6枚入)	2	—	2	—	4	—	4	—
部材	屋根材セット※2 (ポリカーボネイト)	30型用(6枚入)	—	2	—	2	—	4	—
	27型用(2枚入)	—	—	1	—	—	—	2	—
	30型用(2枚入)	—	—	—	1	—	—	—	2
	梱包合計数	8	8	10	10	16	16	20	20

■リードポート1型積雪地 - 基本・縦連棟タイプ

梱包名称	員数								
	積雪地基本タイプ				積雪地縦連棟タイプ				
	27-51型	30-51型	27-59型	30-59型	27-51・51型	30-51・51型	27-59・59型	30-59・59型	
桁・中骨セット	51型用	1	1	—	—	2	2	—	—
	59型用	—	—	1	1	—	—	2	2
端部アーチセット	27型用	1	—	1	—	1	—	1	—
	30型用	—	1	—	1	—	1	—	1
中間アーチセット	27型用(1本入)	—	—	—	—	1	—	1	—
	30型用(1本入)	—	—	—	—	—	1	—	1
	27型用(5本入)	1	—	—	—	2	—	—	—
	30型用(5本入)	—	1	—	—	—	2	—	—
	27型用(6本入)	—	—	1	—	—	—	2	—
	30型用(6本入)	—	—	—	1	—	—	—	2
	27型用	1	—	1	—	2	—	2	—
	30型用	—	1	—	1	—	2	—	2
部品セット	59型・積雪地(51・59型)用	1	1	1	1	1	1	1	1
	59型・積雪地(51・59型)用	—	—	—	—	1	1	1	1
積雪地用梁セット	27型用	1	—	1	—	2	—	2	—
	30型用	—	1	—	1	—	2	—	2
選択	59型・積雪地(51・59型)用	1	1	1	1	1	1	1	1
	27型用(6枚入)	2	—	2	—	4	—	4	—
部材	屋根材セット※2 (アクリル)	30型用(6枚入)	—	2	—	2	—	4	—
	27型用(2枚入)	—	—	1	—	—	—	2	—
	30型用(2枚入)	—	—	—	1	—	—	—	2
	27型用(6枚入)	2	—	2	—	4	—	4	—
部材	屋根材セット※2 (ポリカーボネイト)	30型用(6枚入)	—	2	—	2	—	4	—
	27型用(2枚入)	—	—	1	—	—	—	2	—
	30型用(2枚入)	—	—	—	1	—	—	—	2
	梱包合計数	10	10	11	11	20	20	22	22

※1 ロング・凍上柱とは、凍上柱仕様のことです。

※2 屋根材セットは「アクリル」または「ポリカーボネイト」を選択します。

梱包明細表

■桁・中骨セット

名 称	員 数	
	51型	59型
桁	左右各 1	左右各 1
中骨	1	1
サブ中骨 L=778mm	12	14
屋根材押え L=400mm	12	14
グレチャン L=795mm	12	14
豎樋 L=4000mm 丸樋	2	2
雨樋パッキン	2	2
雨樋アタッチメント	2	2
ドレンエルボ (φ40)	2	2
雨樋でんでん	6	6
92°エルボ (φ40)	4	4
接着剤	1	1
φ4×14トラスタッピン (3種)	10	10

■部品セット/51型用,59型・積雪地(51・59型)用

名 称	員 数	
	51型用	59型・積雪地 (51・59型)用
桁端部キャップ	左右各 2	左右各 2
柱取付金具	4	6
中間アーチベロ部品	10	12
端部アーチベロ部品	左右各 2	左右各 2
サブ中骨固定部品	24	28
中骨端部キャップ	2	2
桁コーティングシーラー	左右各 2	左右各 2
アンカー棒 φ9	4	6
φ4×14ナベタッピン(3種)	47	53
φ4×35ナベタッピン(1種)	21	24
φ6×14ナベタッピン(3種)	16	24
φ4×20ナベタッピン(2種)G=5	16	16
M4ナイロン座金	5	6
M8×16六角ボルト	8	12
M8平座金	8	12
M8バネ座金	8	12
M8ナット	8	12
ブチルシーリング材(100g)	1	1

■縦連棟用部品セット/51型用,59型・積雪地(51・59型)用

名 称	員 数	
	51型用	59型・積雪地 (51・59型)用
柱取付金具	4	6
中間アーチベロ部品	12	14
サブ中骨固定部品	24	28
中骨端部キャップ	1	1
アンカー棒 φ9	4	6
φ4×14ナベタッピン(3種)	63	69
φ4×35ナベタッピン(1種)	18	21
φ6×14ナベタッピン(3種)	16	24
M4ナイロン座金	5	6
M8×16六角ボルト	8	12
M8平座金	8	12
M8バネ座金	8	12
M8ナット	8	12
ブチルシーリング材(100g)	1	1
縦連棟スリーブA	2	2
縦連棟スリーブB	2	2

■端部アーチセット

名 称	員 数
端部アーチ	2
アーチカバー	4
取付説明書	1

■積雪地梁セット

名 称	員 数
梁	3
梁取付金具	6
M6×16六角ボルト	24
M6バネ座金	48
M6袋ナット	24
M8×45六角ボルト	6
M8平座金	12
M8バネ座金	6
M8袋ナット	6

■柱セット(2本入)

名 称	員 数
柱	2
取扱説明書	1

■屋根材セット(アクリル)(ポリカーボネイト)

名 称	員 数
2枚入	2
6枚入	6

■中間アーチセット

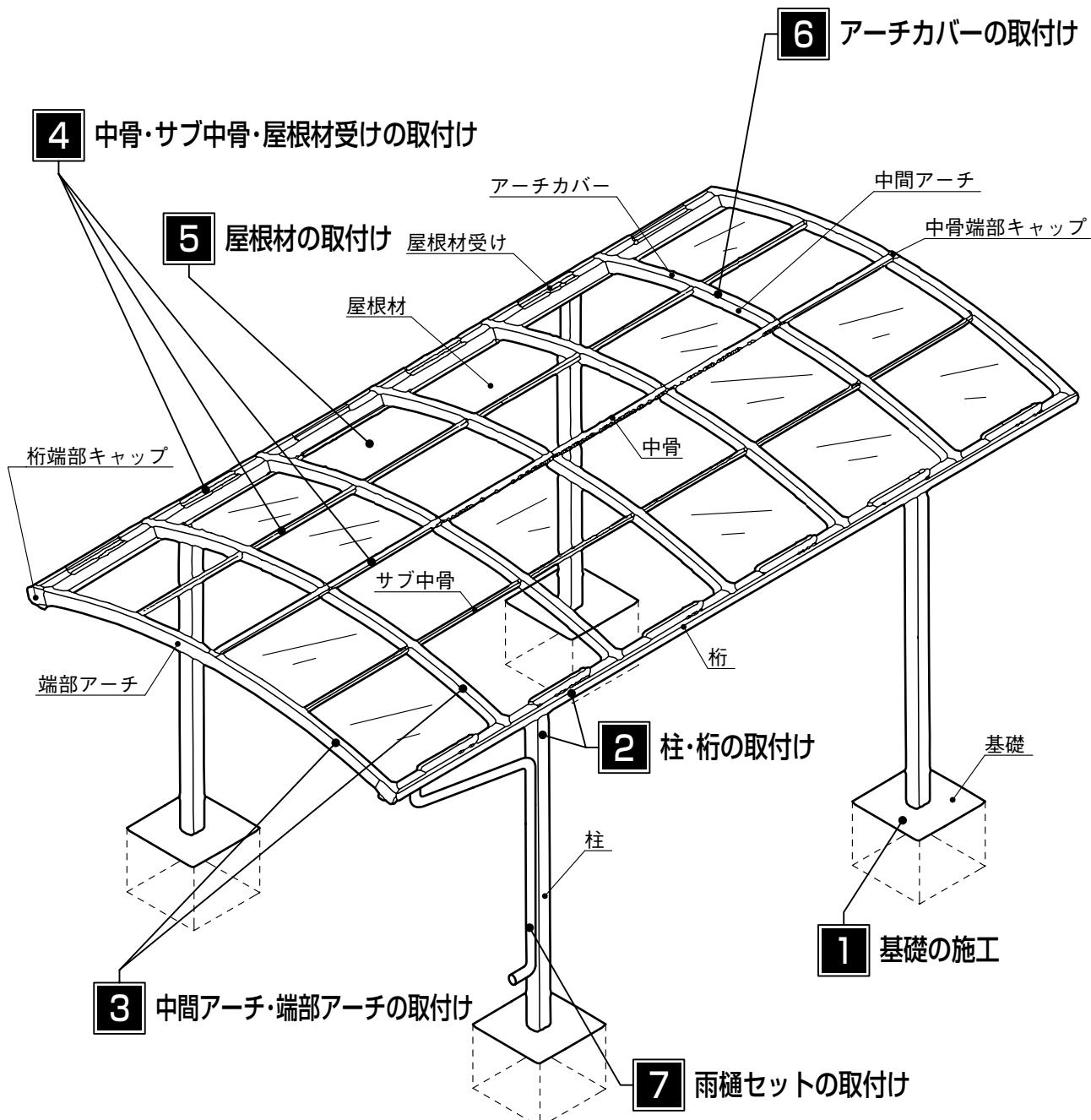
名 称	員 数		
	1本入	5本入	6本入
中間アーチ	1	5	6
アーチカバー	2	10	12

基本(積雪地)タイプ

各部の名称と施工手順

①～⑦は、基本タイプ施工手順(7～11ページ)を示しています。

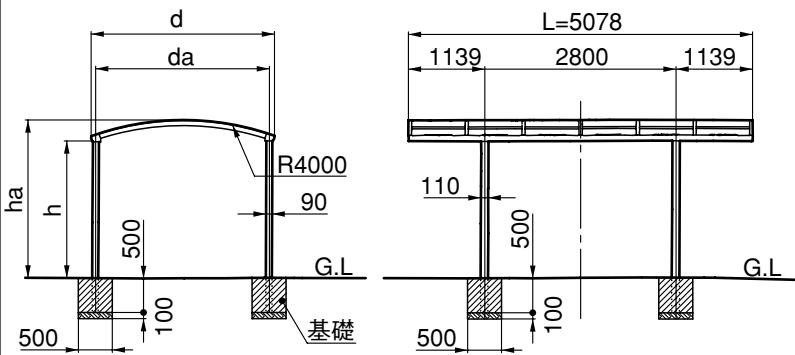
⑧梁の取付けは、積雪地用のみとなります。(11～12ページ)



基本寸法

■基本タイプ

51型

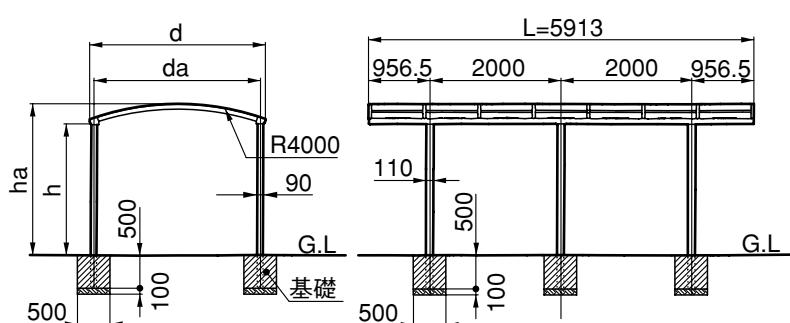


墨出し位置

- 柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。

※柱の移動距離は最大150mmです。

59型



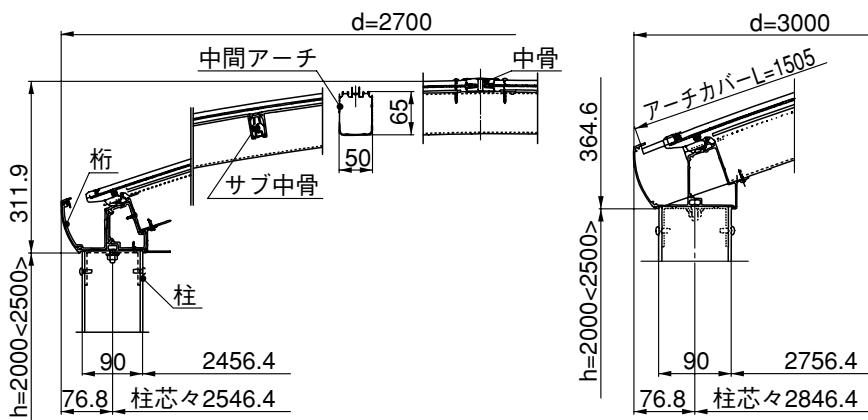
墨出し位置

型呼称	d	da
27	2700	2546.4
30	3000	2846.4

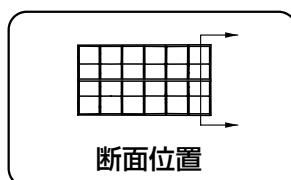
呼称	h	ha	
		27	30
標準柱	2000	2311.9	2364.6
ロング柱	2500	2811.9	2864.6

- 柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。

※柱の移動距離は最大150mmです。



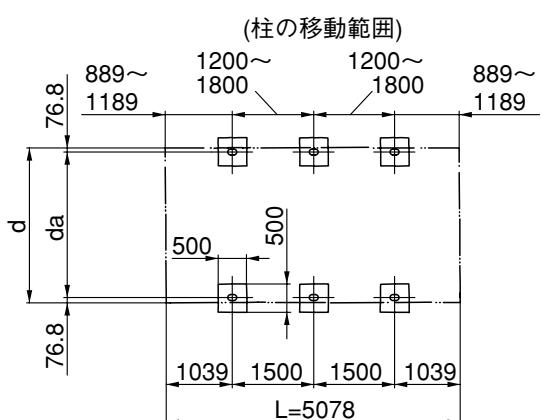
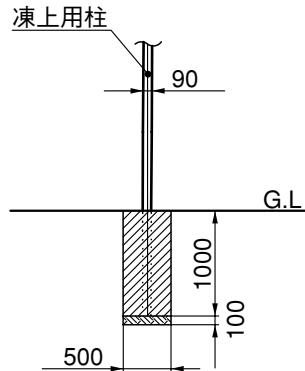
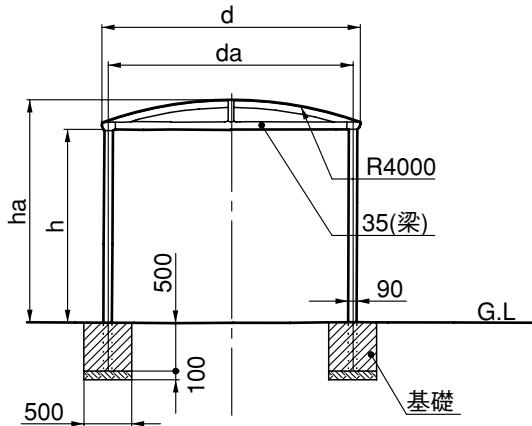
※本図は $h=20$ サイズ、 $< >$ 内数字
はロング柱仕様を示します。



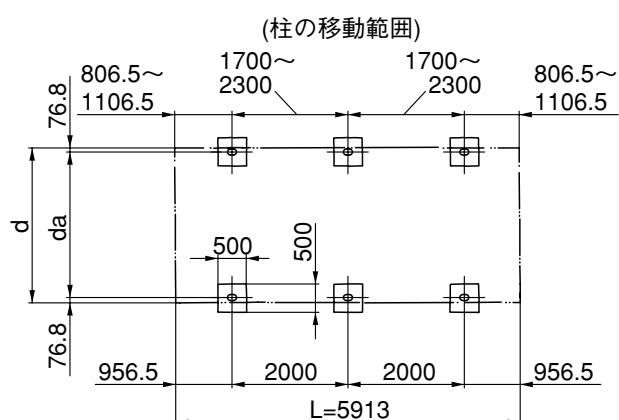
27型

30型

■積雪地タイプ



51型(墨出位置)

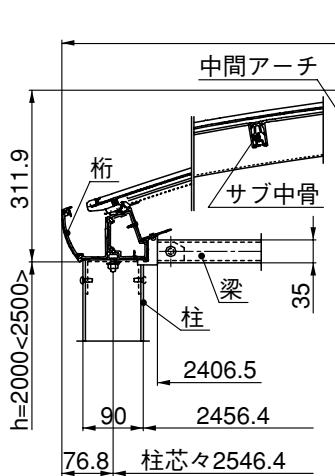


59型(墨出位置)

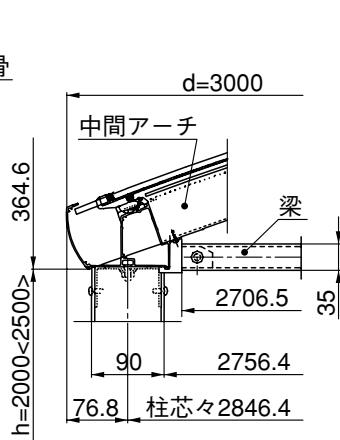
型呼称	d	da
27	2700	2546.4
30	3000	2846.4

呼 称	h	ha	
		27	30
標準柱	2000	2311.9	2364.6
ロング柱	2500	2811.9	2864.6

- 柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。
- ※柱の移動距離は最大150mmです。

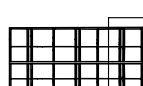


27型



30型

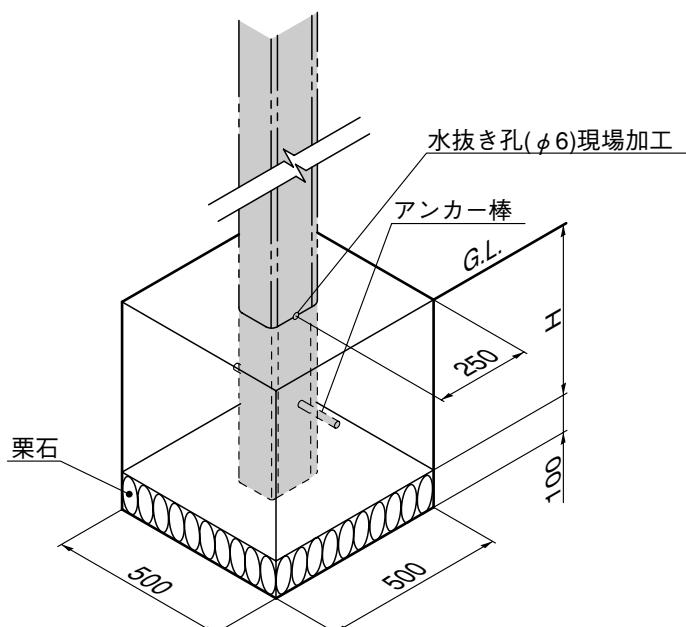
※本図は h = 20 サイズ、< >内数字
はロング柱仕様を示します。



断面位置

— 基本・積雪地タイプ施工手順 —

1 基礎の施工



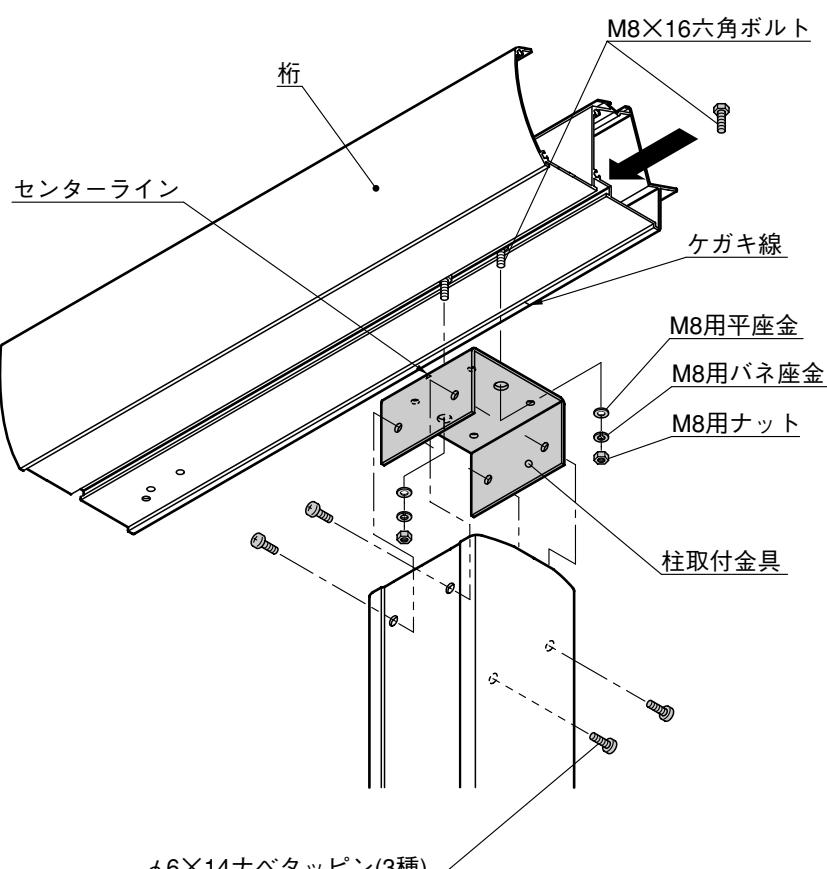
- ① 柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んでください。

注意

- 取付け現場の状況に応じて屋根の水勾配方向を決定してください。
- 柱の根元には水抜き穴(φ 6)を現場にてあけてください。

	標準柱	凍上柱
H	500	1000

2 柱・桁の取付け



注意

- 取付け現場の状況に応じて屋根の水勾配をどちらに取るか決定してください。
- 桁の水抜き穴は1個所です。あらかじめ雨樋の取付け位置を考慮して桁を取付けてください。

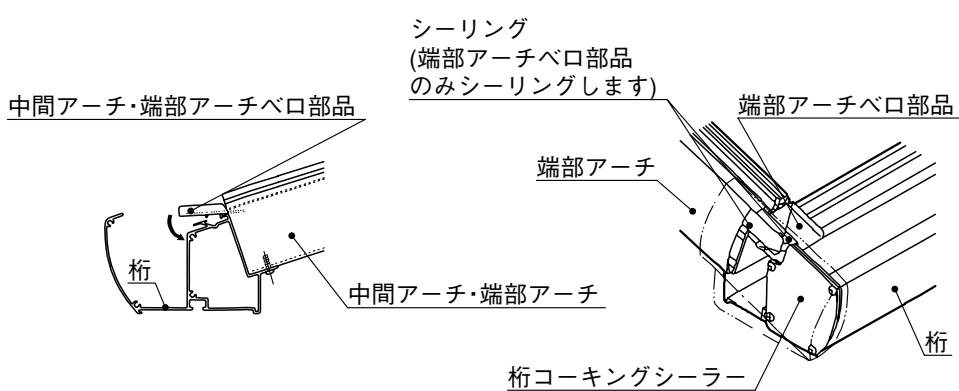
- ① 桁のボルト溝にM 8 のボルトを挿入してください。
(柱 1 本につきボルト 2 本)

- ② 桁と柱取付金具をケガキ線に合わせて固定してください。

- ③ 柱と柱取付金具を固定してください。

3 中間アーチ・端部アーチの取付け

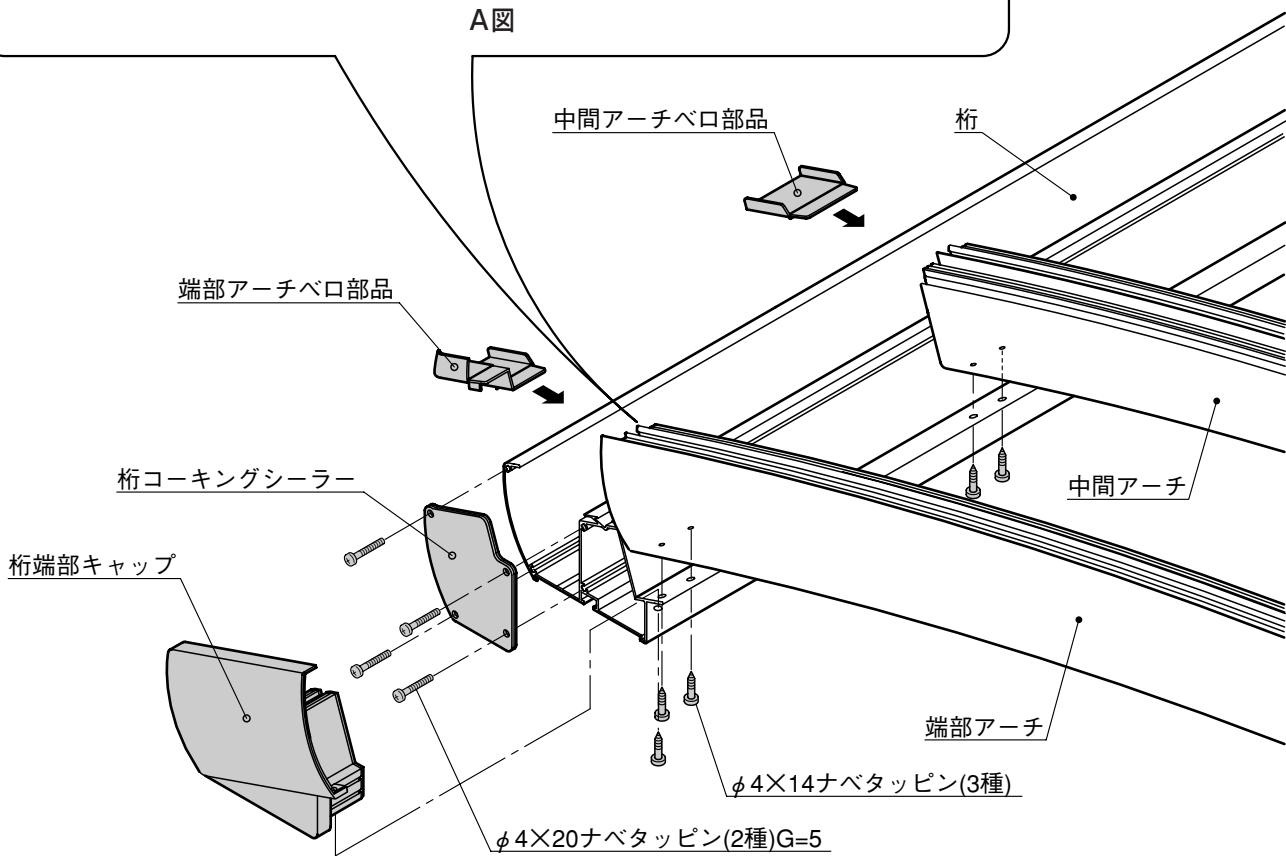
- ① 桁に中間アーチ・端部アーチを取付けてください。
- ② 中間アーチに中間アーチベロ部品、端部アーチに端部アーチ部品を差込んでください。(A図参照)



※端部アーチベロ部品には左右があります。

※端部アーチベロ部品と桁コーティングシーラーおよび端部アーチのすき間をシーリングしてください。

A図



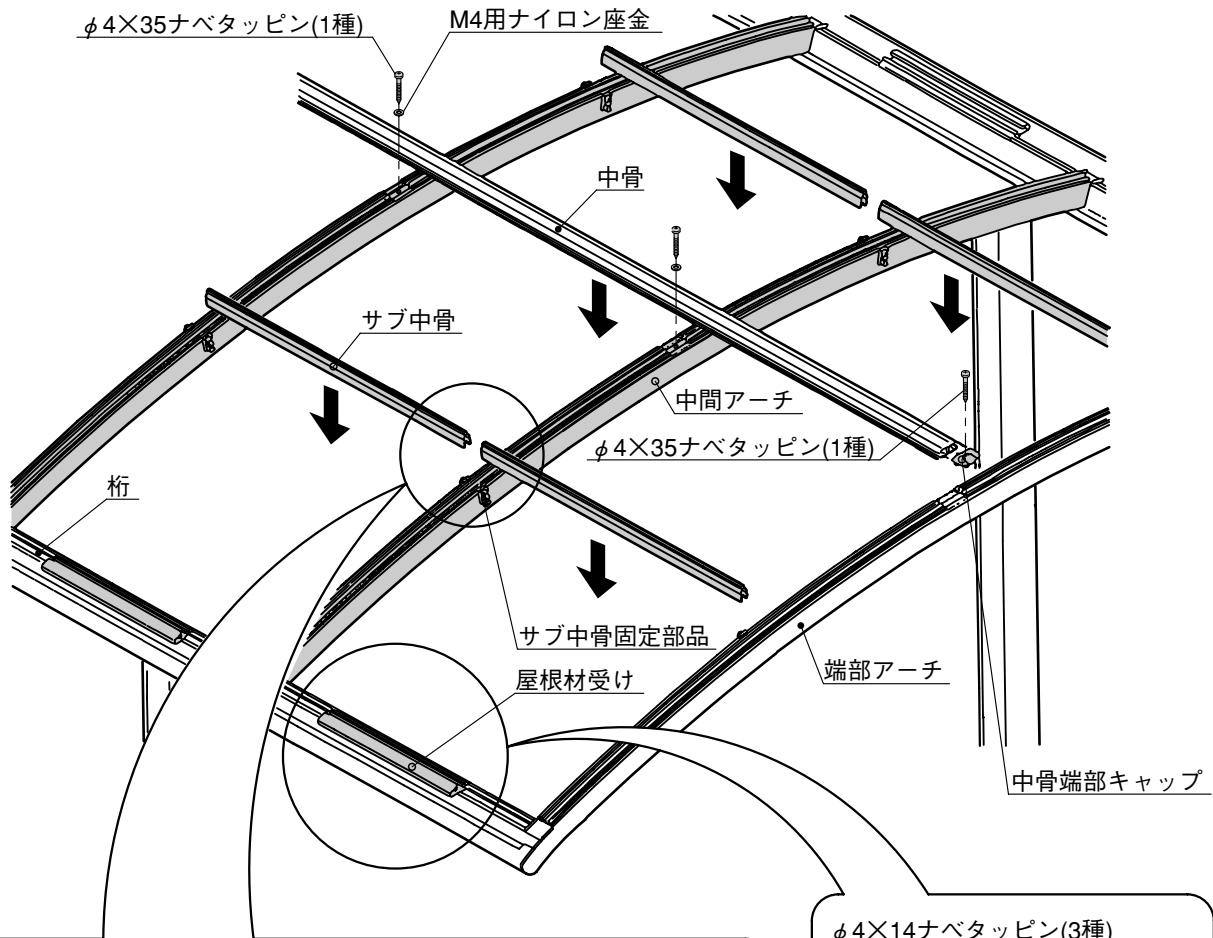
- ③ 桁端部に桁コーティングシーラー、桁端部キャップを取り付けてください。
- ④ 屋根の対角・水平・柱の垂直を出してください。

注意

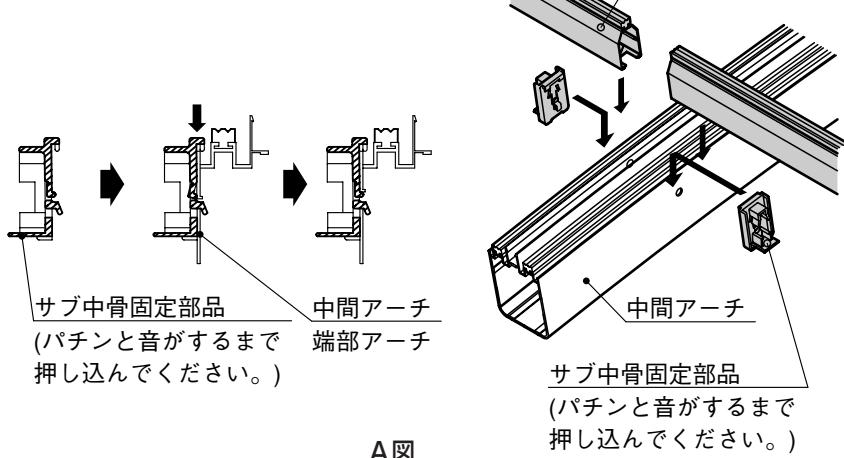
- 指定の箇所に必ずシーリングしてください。
- 対角が出てないとアクリル板(屋根材)の音鳴りの原因になります。

4 中骨・サブ中骨・屋根材受けの取付け

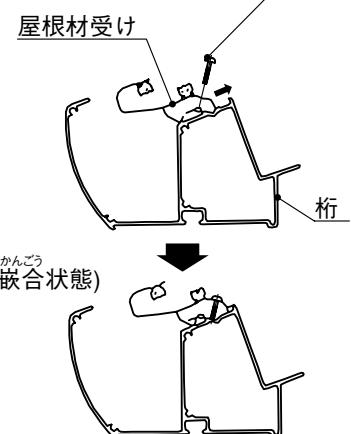
- ① 中骨の端部に中骨端部キャップを差込み、中間アーチと端部アーチを固定してください。
- ② サブ中骨固定部品を中間アーチ、端部アーチに取付け、サブ中骨を上から取付けてください。(A図参照)
- ③ 屋根材受けを桁に取付けてください。(B図参照)



サブ中骨固定部品取付方法



φ4×14ナベタッピン(3種)



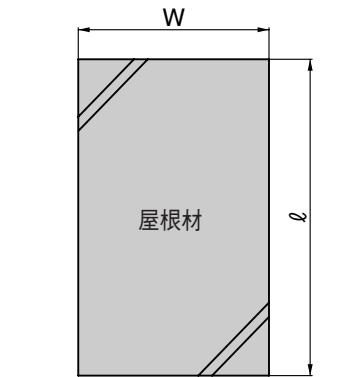
注意

- フィンを引っ掛けて上から落とし込みながら取付けてください。
- サブ中骨固定部品は一度はめ込むと取れません。無理に取ると破損しますのでご注意ください。

注意

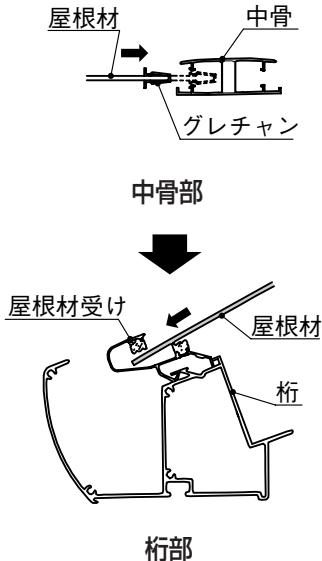
- 桁にきちんと嵌合していることを確認してください。

5 屋根材の取付け



屋根パネル寸法

型呼称	W	L
27	819	1325
30		1484



① 屋根材中骨側端部にグレチャンを取付けてください。

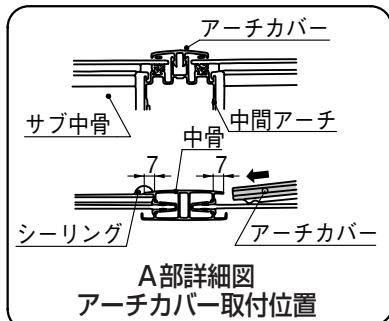
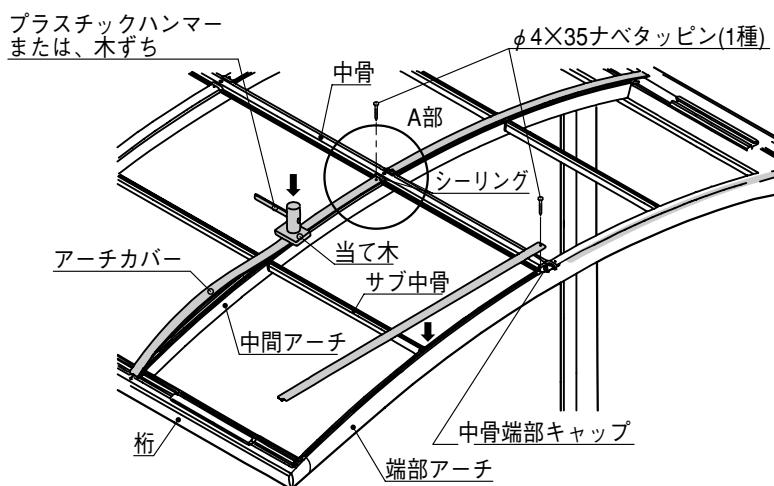
② 中骨に水平に差込み、桁側を屋根材受けのすき間に差込んでください。

③ 中間アーチの「のみ込み」を左右均等(17mm)にしてください。

注意

- アクリル板が中間アーチのアルミ部分に当たっていないことを確認して下さい。
(音鳴りの原因になります。)

6 アーチカバーの取付け



- ① アーチカバーで屋根材を固定してください。
- ② アーチカバーの斜めカット側を中骨(端部アーチ側は中骨端部キャップ)のすき間に突き当たるまで差込んでください。
- ③ 中骨側から長さの3分の1程たたき込んだ後、桁側を差込んでから全体をたたき込んでください。
- ④ 中骨、中骨端部キャップとのすき間にシーリング材を充てんしてください。

注意

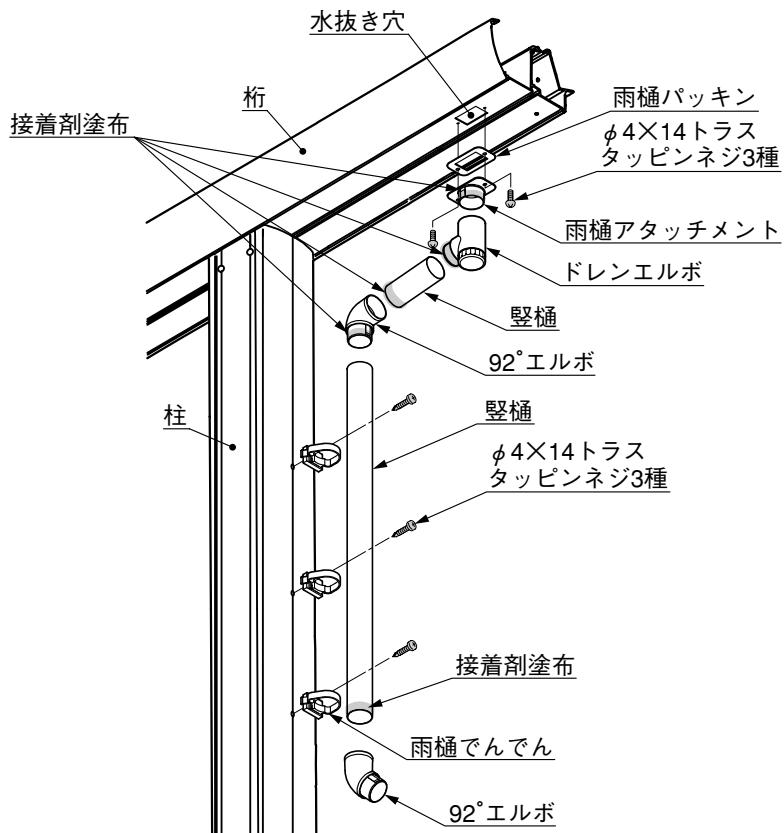
- 必ず形材とアーチカバーのはめ合わせ位置があつていてることを確認してください。
- 必ず当て木をし、プラスチックハンマーまたは木づちでたたき込んでください。
- アーチカバーの中央が少しひこむまでたたき込み、確実に取付いたことを確認してください。
- 一度使用したアーチカバーは再度使用できませんのでご注意ください。

お願い

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
- シリコーンシーリングを行う場合、アクリル板及びポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。

シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業	シーラント72
東芝シリコーン	トスシール380
トーレシリコーン	SE960

7 雨樋セットの取付け



① 柄の底面にある水抜き孔に雨樋セットを取付けてください。

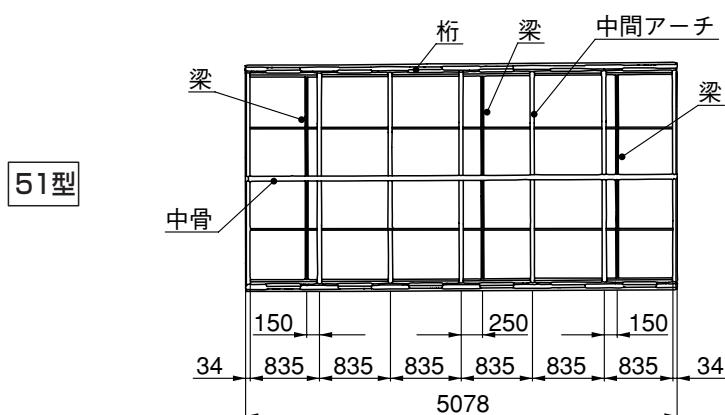
② 壁樋は現場にて切断加工して施工してください。

注意

- 同梱の接着剤を使用してください。

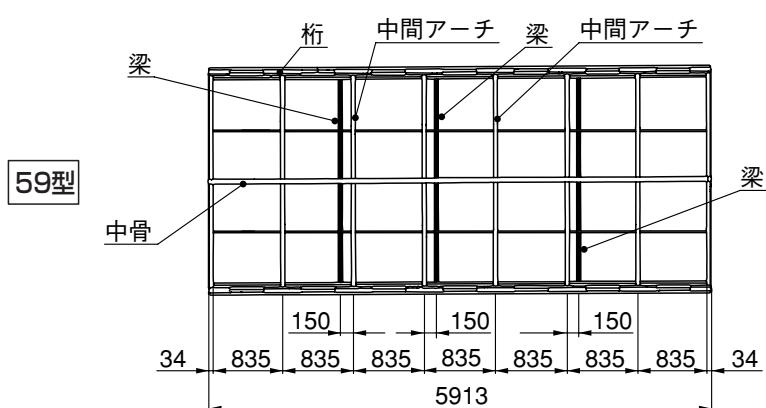
8 梁の取付け(積雪地用のみ)

8 - 1 梁の取付け位置



① 梁に梁取付金具(12ページ参照)を取付けて柄に移し孔をあけ、固定してください。

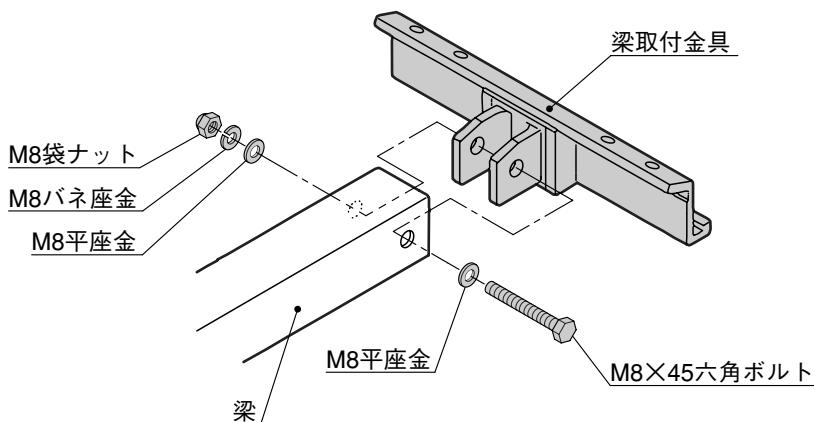
(梁と、中間アーチの位置関係は左図を参照してください。)



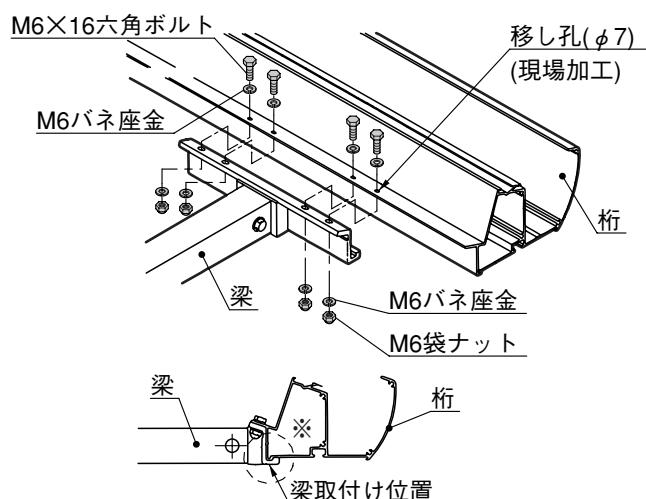
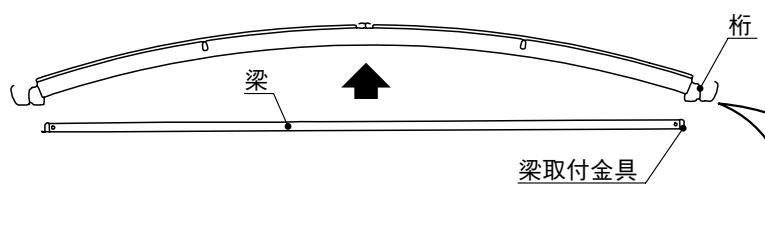
注意

- 柱移動時は梁取付金具が柱に干渉しないように注意してください。
- 梁以外の取付けは基本タイプを参照してください。

8 - 2 梁取付金具の取付け



8 - 3 梁の取付け



注意

- (※ 1) 梁取付金具が柄にきちんと嵌合していることを確認してください。

施工後の確認

施工終了時または、お客様へお引き渡し前に、下記事項を必ず確認してください。

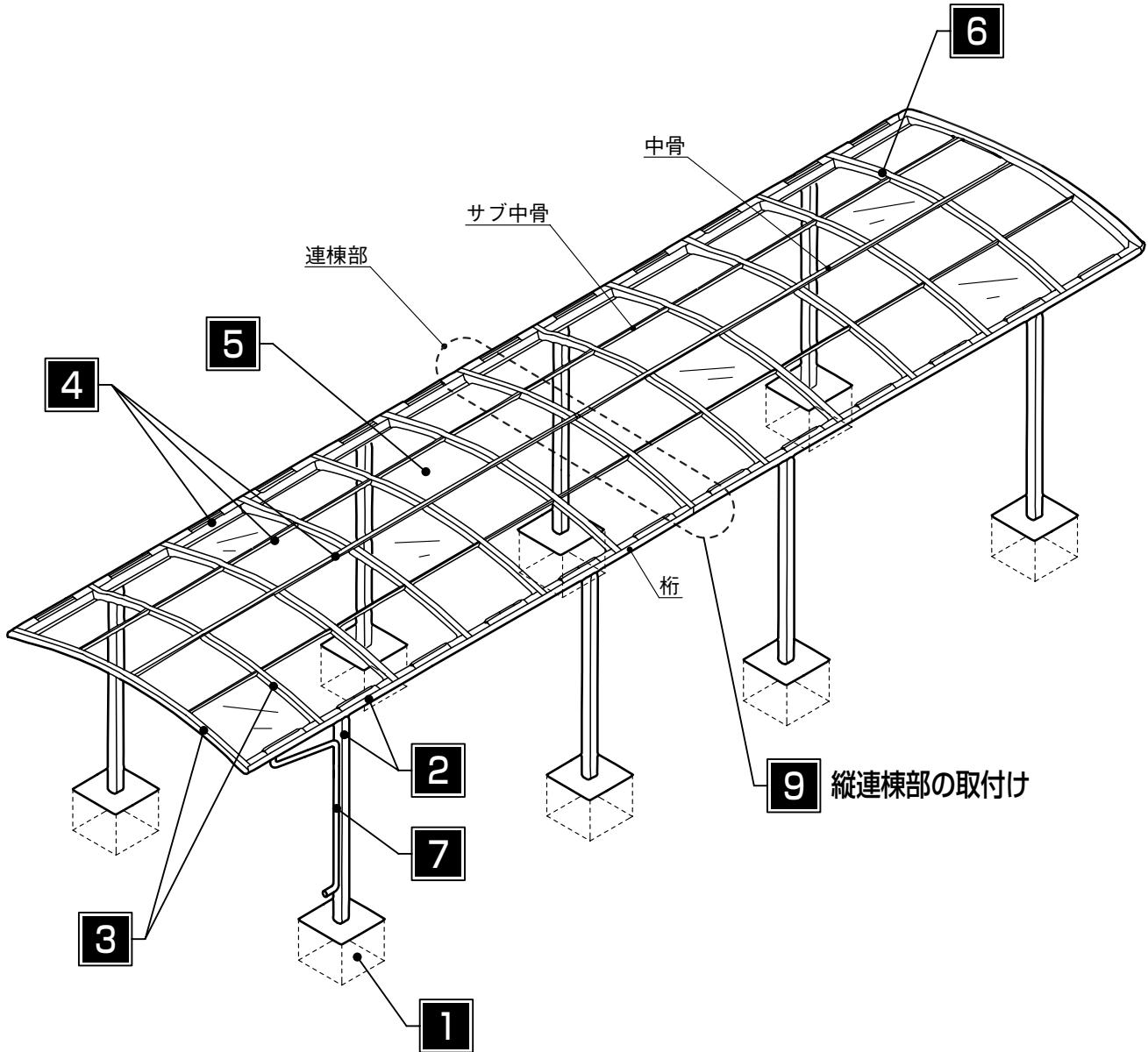
- ❶ 各部のネジのゆるみがないことを確認してください。
- ❷ 部品が正常な位置に取付けられていることを確認してください。
- ❸ 製品の汚れを取り除いたことを確認してください。

縦連棟タイプ

各部の名称と施工手順

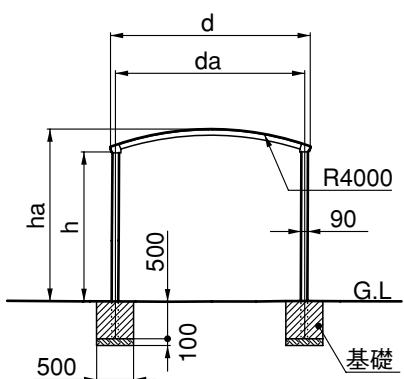
■1～■7 は、基本セット施工手順(7～12ページ)を示しています。

■8 梁の取付けは、積雪地用のみとなります。



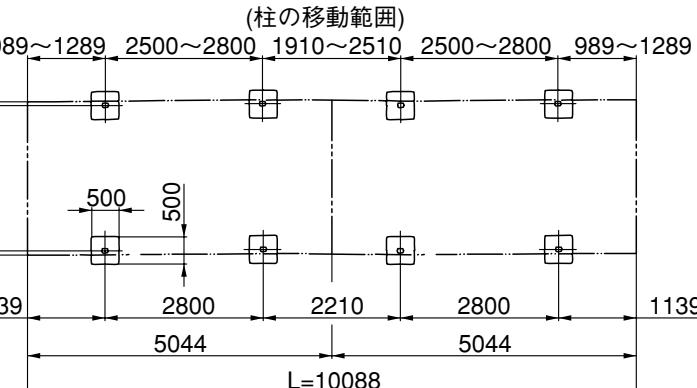
■ 基本寸法 ■

51型



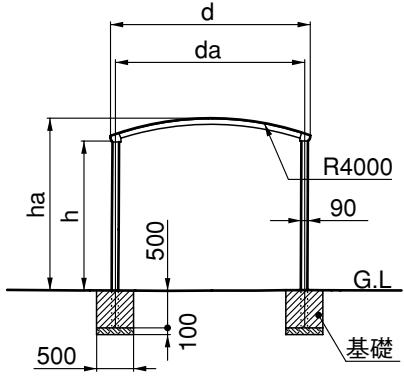
- 柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んで下さい。

※柱の移動距離は最大150mmです。



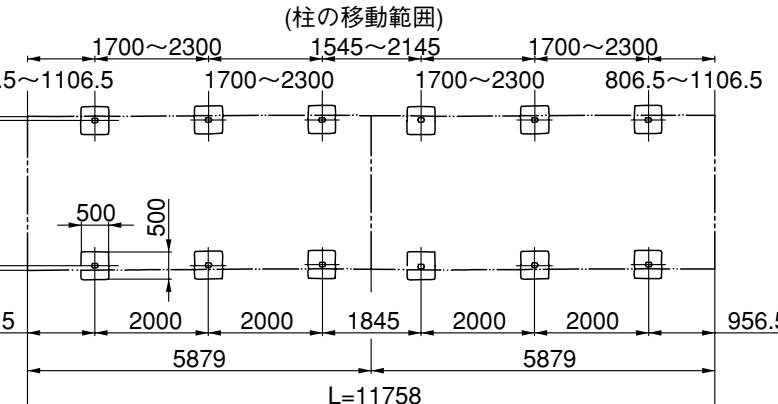
墨出し位置

59型



- 柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘り込んで下さい。

※柱の移動距離は最大150mmです。



墨出し位置

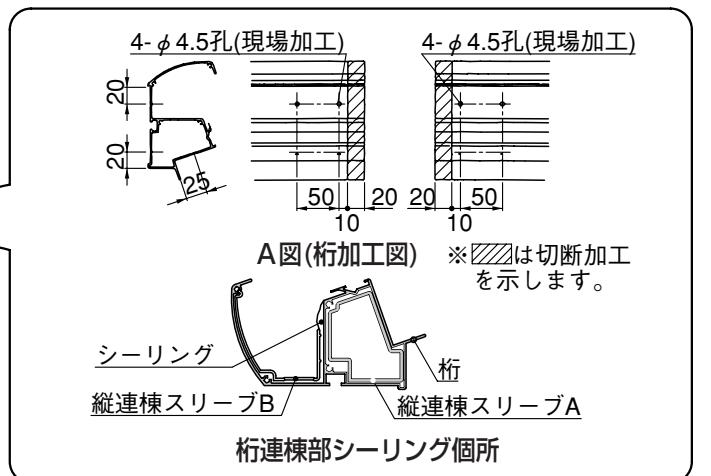
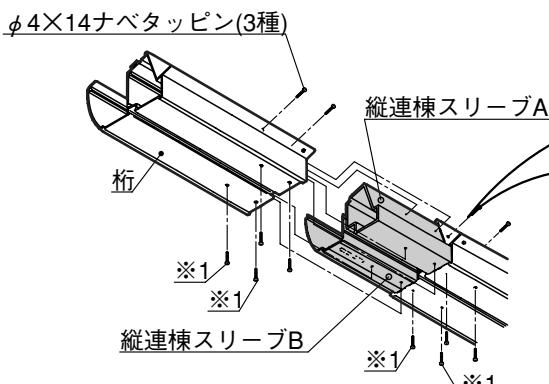
型呼称	d	da
27	2700	2546.5
30	3000	2846.4

縦連棟タイプ施工手順

■ ①～⑦までは基本タイプと同様です。
(縦連棟以外の取付けは基本タイプを参照してください。)

9 縦連棟部の取付け

9-1 桁連棟部

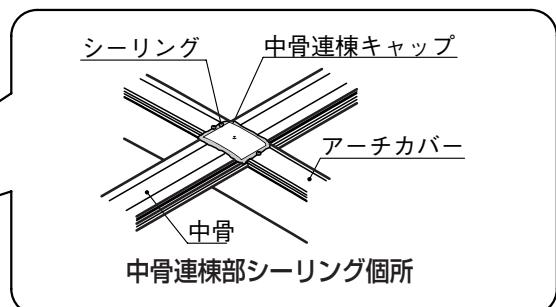
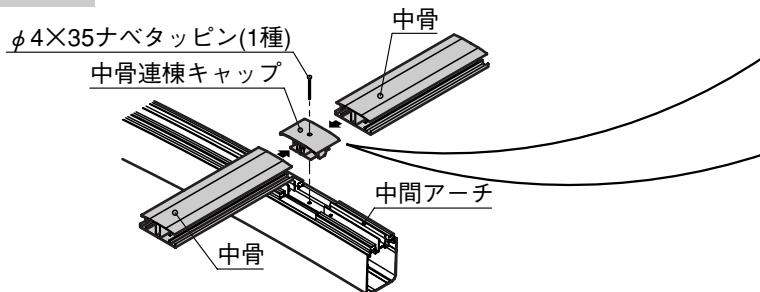


- 1 A図に従って桁に孔あけおよび切断加工をしてください。(現場加工)
- 2 桁連棟部にシーリング材を充てんしてください。
- 3 縦連棟スリーブA,Bと桁をφ4×14ナベタッピン(3種)で固定してください。

注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
- (※1) 4カ所のネジは、加工穴にシーリング材を充てんした後ネジ止めしてください。

9-2 中骨連棟部



- 1 中骨を中骨連棟キャップに差込んで、中間アーチにφ4×35ナベタッピン(1種)で取付けてください。

注意

- 屋根材取付け後、中骨連棟キャップのまわりにシーリング材を充てんしてください。

お願い

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
- シリコーンシーリングを行う場合、アクリル板及びポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。

シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業	シーラント72
東芝シリコーン	トスシール380
トーレシリコーン	SE960

『施工後の確認』は、12ページの基本タイプと同様に行なってください。

取説コード
D256

MAF-721C

97-11A

200508D_1001